



警告のニューズレター「角笛」

発行日：2018年2月発行（第94号）

発行：警告の角笛出版

価格：フリーペーパー

角笛 HP: <http://www.geocities.co.jp/Technopolis-Mars/5614/>

〔目次〕

- ◎巻頭メッセージ：「偶像を拝む」 エレミヤ
- ◎時代を悟る「霊に惑わされた時代」 H.F
- ◎お知らせコーナー 「本の紹介」

[巻頭メッセージ]

「偶像を拝む」 by エレミヤ

本日は「偶像を拝む」という題でメッセージをしたいと思います。黙示録は終末の日に背教の教会やクリスチャンが偶像崇拝を行うことを預言しています。以下の通りです。

黙示録 9:20 これらの災害によって殺されずに残った人々は、その手のわざを悔い改めないで、悪霊どもや、金、銀、銅、石、木で造られた、見ることも聞くことも歩くこともできない偶像を拝み続け、

9:21 その殺人や、魔術や、不品行や、盗みを悔い改めなかった。

本日はこのことを見ていきたい、と思います。

<偶像崇拝は器崇拝のたとえ>

主はかつてたとえを理解し、御国の奥義を

理解することに関して語りました。以下のとおりです。

マタイ 13:10 すると、弟子たちが近寄って来て、イエスに言った。「なぜ、彼らにたとえでお話しになったのですか。」

13:11 イエスは答えて言われた。「あなたがたには、天の御国の奥義を知ることが許されているが、彼らには許されていません。」

聖書の奥義はたとえを通して隠されているので、私たちはそのたとえを理解することが大事なのです。上記黙示録の記述、「金、銀、銅、石、木で造られた、見ることも聞くことも歩くこともできない偶像」とは器崇拝をたとえる表現です。

金銀は、信仰をさす表現です。ですから、金の偶像とは信仰深い器を偶像の様に拝むことをさすたとえです。また、石や木はクリスチャンをさすたとえです。主が使徒であるペテロに対して、ペテロ（小石）とか、この岩と語られたように弟子や器は、石にたとえられます。

「偶像を拝む」 by エレミヤ

また、主が「私はまことのぶどうの木、あなたがたはその枝です」といわれたように、木はクリスチャンをさすたとえです。

「見ることも聞くことも歩くこともできない偶像」

人々はそれらの信仰的なリーダーや、牧師、教師、リバイバリストを器崇拜、人間崇拜の様に崇めます。しかし、神の前には、それらの人の器は「見ることも聞くことも歩くこともできない」偶像に過ぎないことがこのテキストで語られています。

見ることも聞くこともできない、といわれれば怒る人が多いかもしれませんが、失礼ながら私にもそう見えています。

今の時代において、人々から大いに崇められる器がみな、神のことばを見ることができなくなっています。彼らは見ることができず、そのため、黙示録にこのように明確に記されている終末の日のクリスチャンや教会の背教について何一つ理解せず、この書に書かれていることを見ていません。

また、今の時代に関する神の警告やうながしを聞く耳も持っていません。それどころか、クリスチャンが艱難の前に挙げられるとする艱難前携挙説などをうのみにしています。彼らが何も聞いていないことは明白です。

さらにベニーヒンを始めとする悪霊リバイバリストを見分けることもできません。

聖霊と悪霊の区別をすること、見る事ができていないのです。

<偶像を拝むものは恥を見る>

聖書は人を偶像視し、それを神のことばより優先するなら、その人はその偶像のゆえに恥を見ることを語ります。以下の通りです。

イザヤ 44:9 偶像を造る者はみな、むなし。彼らの慕うものは何の役にも立たない。彼らの仕えるものは、見ることもできず、知ることもできない。彼らはただ恥を見るだけだ。

44:10 だれが、いったい、何の役にも立たない神を造り、偶像を鑄たのだろうか。

44:11 見よ。その信徒たちはみな、恥を見る。それを細工した者が人間にすぎないからだ。彼らはみな集まり、立つがよい。彼らはおののいて共に恥を見る。

ここには、人を神の位置に置き、神のことばより、人の器のことばを優先する人がみな、恥を見ることが書かれています。恥を見る、このことは事実です。たとえば、1970年代に世界のキリスト教会を席卷した本は、ハル・リンゼイの終末本です。日本のキリスト教会でもすっかりこの本にはまり、似たような本を出した人もいました。多くの人が聖書の健全な教理を捨て、ハル・リンゼイの語る終末理解に従いました。しかし人を偶像視し人を神の位置に置き、聖書と異なった教理を語る人々は恥をみるようになります。ハル・リンゼイの本は大いに売れたかもしれませんが、彼自身はその後、預言が外れて恥を見えています。彼は1980年代にハルマゲドンがやってくる、艱難時代がやってくるなどと語ったのですが、勿論そんなことばは実現しませんでした。彼自身もまた、彼の終末教理に盲従する人々も恥をみたわけです。

「偶像を拝む」 by エレミヤ

<神のことばを語るものが偶像となる>

聖書は、神のことばを語るその器や奉仕者が人々にとって、偶像となる危険について語ります。以下のことばを見てください。

イザヤ44:14 彼は杉の木を切り、あるいはうばめがしや榿の木を選んで、林の木の中で自分のために育てる。また、月桂樹を植えると、大雨が育てる。

44:15 それは人間のたきぎになり、人はそのいくらかを取って暖まり、また、これを燃やしてパンを焼く。また、これで神を造って拝み、それを偶像に仕立てて、これにひれ伏す。

44:16 その半分は火に燃やし、その半分で肉を食べ、あぶり肉をあぶって満腹する。また、暖まって、『ああ、暖まった。熱くなった。』と言う。

44:17 その残りで神を造り、自分の偶像とし、それにひれ伏して拝み、それに祈って『私を救ってください。あなたは私の神だから。』と言う。

この箇所を見てみましょう。

44:15 それは人間のたきぎになり、人はそのいくらかを取って暖まり、また、これを燃やしてパンを焼く。また、これで神を造って拝み、それを偶像に仕立てて、これにひれ伏す。

ここでは、偶像を作るその木でまた、パンを焼くことが書かれています。パンはたとえであり、みことばをさすたとえです。すなわち、パン、みことば、メッセージを

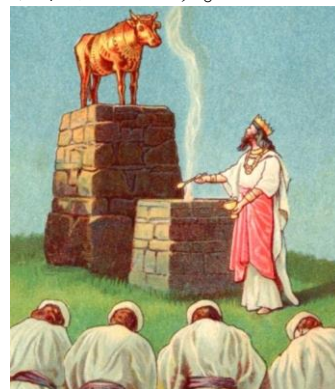
扱う器をまた反面、偶像視することに関してここで語られているのです。また火で暖まることが書かれています。火は、霊のたとえ、聖霊のたとえであり、神の霊の働きを教会にもたらず器を偶像視する危険に関してたとえを通して語られているのです。

44:17 その残りで神を造り、自分の偶像とし、それにひれ伏して拝み、それに祈って『私を救ってください。あなたは私の神だから。』と言う。

ここでは、パンを焼いたり、火で暖めてくれるその木の残りがそのまま偶像になってしまうことが書かれています。すなわち、みことばの用にあたり、聖霊の働きをもたらす器がそのまま偶像の位置に置かれてしまうことが書かれています。

<主の初降臨の日も偶像崇拜の時代だった>

主イエスキリストが初降臨したその時代もまた偶像崇拜の時代でした。イスラエルの人々はアシェラや、バアルの像は拝まないものの、人の器を拝み、神のことばから離れていました。それで主は以下の様にいわれたのです。



偶像崇拜

「偶像を拝む」 by エレミヤ

ルカ12:54 群衆にもこう言われた。「あなたがたは、西に雲が起こるのを見るとすぐに、『にわか雨が来るぞ。』と言い、事実そのとおりになります。

12:55 また南風が吹きだすと、『暑い日になるぞ。』と言い、事実そのとおりになります。

12:56 偽善者たち。あなたがたは地や空の現象を見分けることを知りながら、どうして今のこの時代を見分けることができないのですか。

12:57 また、なぜ自分から進んで（自分自身で：KJV）、何が正しいかを判断しないのですか。

ここで、主は群衆が自分自身でその時代を判断しないことを叱責しています。自分自身で判断せず、逆にパリサイ人や、律法学者の判断をうのみにする、すなわち、神のことばより、器を優先する器崇拜、偶像崇拜の罪に関して語っているのです。

この時代に関して律法学者や、パリサイ人は耳ざわりのよいことば、恵みや祝福やすばらしい未来が来ることを語っていたのかもしれませんが。しかし、実際にはこの時代は神の怒りをかう時代でした。事実この主イエスのときから40年後には神の怒りの中でエルサレムは敵に攻撃され、ユダヤ人は最後の一人まで殺されてしまったのです。

しかし、器を優先し器を偶像のように崇めていた人々はこの時代を悟れなかったのです。そして、この誤り、すなわち器を偶像視して時代を悟れないことは黙示録の時代、終末の時代にも再現するでしょう。

聞くことも見ることもできない偶像すなわち、時代を悟れず、来たらんとする神の怒りを悟れない器を偶像視する人々は終末の時代においても同じような間違い、誤りにはいつていくようになるでしょう。

<イエスの時代の人々は結局は偶像を選んだ>

イエスの初降臨のときは、神の恵みにより、光が与えられ、真理が与えられた時です。以下の様に書かれています。

ヨハネ 1:9 すべての人を照らすそのまことの光が世に来ようとしていた。

ヨハネ1:5 光はやみの中に輝いている。やみはこれに打ち勝たなかった。（悟らなかった）

主は真理の光としてこの時代に來られたのですが、残念ながら、人々は、その光を悟らなかったことがここに書かれています。そして、結局は真理と異なる人の教えを選び受け入れ、人の器を偶像視したのです。その誤りの結果、群衆は最後には光であり、真理であり、神のことばである方を殺すことに加担するようになりました。以下の様に書かれています。

マルコ14:43 そしてすぐ、イエスがまだ話しておられるうちに、十二弟子のひとりのユダが現われた。剣や棒を手にした群衆もいっしょであった。群衆はみな、祭司長、律法学者、長老たちから差し向けられたものであった。

ここに書かれているように、群衆は真理の光であるイエスに聞くより、民のリーダーである祭司長、律法学者、長老たちの意

「偶像を拝む」 by エレミヤ

見に聴き従い、彼らを偶像視し、結局はキリストを殺す働きに加担しました。そして、このできごとは預言的なことからです。というのは、終末の日にも同じような偶像崇拜と十字架殺しが再現するからです。

その日には神の真理より、器のことばを優先し、偶像崇拜の罪に加担する群集が起きてくると思われるからです。そしてそのような人々はかつての日、惑わされた群衆がイエスの敵となったように、神のことばに敵対し、みことばと異なる教理を受入れるようになるでしょう。

というより、このことはもうすでにおこなわれつつあります。多くのクリスチャンは、もうすでに厳しい神のことばを捨て去り、耳ざわりのよい非聖書的教理を歓迎しているからです。いわく、艱難前携挙説、また終末の日に教会やクリスチャンが裁かれることはない、とする教理などです。

このような惑わされたクリスチャン、群衆の動きは加速し、終末の日には、再度キリスト殺しが再現されるようになります。以下のことばの通りです。

黙示録11:8 彼らの死体は、霊的な理解ではソドムやエジプトと呼ばれる大きな都の大通りにさらされる。彼らの主もその都で十字架につけられたのである。

その終末の日には十字架が再現され、「ことばは神である」といわれた方のことばも十字架につけられ、否定されるようになることがここでは預言されているのです。そして、その裏には人の器を神の代わりに崇める偶像崇拜、という罪があるのです。

このことは今おこりつつあり、アメリカで

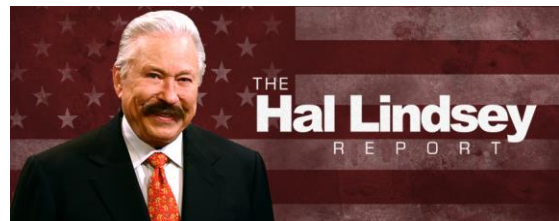
は聖書に明白に禁止された同性愛や、刺青、などがこの世的な牧師を通して受入れられつつあります。そうです、日本でもこのことはすでに起こりつつあり、人々は聖書のことばを捨て去り、神のことばとかけ離れた終末を告げるリーダーの声に聞き、艱難前携挙説などをうのみにしています。しかし、それは人の器を崇める偶像崇拜であることを知りましょう。

<今は偶像崇拜の時代>

コリントの手紙には、以下の様に旧約時代の記述は、終末の我々への警告として書かれたことが記載されています。

1コリント10:11 これらのことが彼らに起こったのは、戒めのためであり、それが書かれたのは、世の終わりに臨んでいる私たちへの教訓とするためです。

です。旧約の民の偶像崇拜の記事を読み、自分と無関係であると思うなら、それは、これらの記述を正しく読んでいないこととなります。逆にこれは今の終末の時代の私たちへの警告であり、我々も今の時代の偶像崇拜、すなわち、器崇拜に陥りやすいと警戒することが正しい反応なのです。福音派、ペンテコステ派、カソリック、それぞれの宗派に偶像の器があります。しかし、私たちはこの方を神としましょう。



ハル・リンゼイ (Hal Lindsey)
人の器が偶像となる

現代はかつてない程、人々が占いや魔術、オカルトに関心をもっている時代でしょう。一つの要因としては、世界的に流行したハリーポッターの映画や本の影響です。これらのブームが呪術や魔法に対して子どもたちから大人まで心を開くことになったのです。キリスト教国と言われていた欧米においても、占い、魔術オカルトを好む傾向は顕著に表れています。

Marketwatch(2017/12/19)の記事では、最近、誰かに会った時の最初の質問は「あなたのサイン(星座)はなんですか。」であり「多くの人々が毎日星占いを読んでいる。」とあります。そして近年人々の間では、霊性に対する関心が高まっており、Pew Research Centerの調査によるとアメリカの若者の半数以上は占星術が科学だと信じています。業界分析会社のIBIS Worldによると占星術、オーラ、タロットカードなどの占星術サービスは大きく成長しているとあります。

Christian News Network(2018/1/15)では、火曜日クリントン元大統領の娘である、チェルシー・クリントンがツイッターで、サタンの教会に新年のあいさつを送ったことについて、多くのツイッターユーザーは懸念を表明している、とあります。サタン教会とは1966年Anton Szandor Laveyによって設立されサタンを礼拝しています。このようにほんの少しのニュースを見てもキリスト教国と言われていたアメリカにおいても近年オカルトや占星術が非常に好まれ、急激に広がっていることがわかります。しかし聖書はこれらのことを禁じています。

申命記18：10～12あなたがたのちに自分の息子、娘に簸の中を吐露らせる者があってはならない。占いをする者、卜者、

まじない師、占術者、呪文を唱える者、霊媒をする者、口寄せ、死人に伺いを立てる者があってはならない。これらのことを行う者はみな、主が忌みきらわれるからである。

占い、魔術などオカルト的な行為は神様が忌み嫌うことなのです。では今キリスト教会ではどのようなことが起こっているのかを見てみましょう。オーストラリアのメルボルンにある「Christalignment」というグループはニューエイジやオカルトと見なされているタロットカードに似た「destiny cards 運命のカード」を用いて伝道をしていることをChristian News Network(2018/1/15)は伝えています。Christalignmentはアメリカのメガチャーチであるカリフォルニア州レディングのベテル教会Bethel Churchにおいても活発に活動しています。このグループはニューエイジのフェスティバルなどのイベントに参加し、タロットカードに酷似した「destiny cards 運命のカード」を用い伝道を進めているがその手法は呪術であるタロットカードと同様です。しかし、ベテル教会はこれらのことが間違っていないと主張しています。

ブラック・ライヴ・マターBlack Lives Matterの主催者が、カリフォルニア州ハリウッドユナイテッドメソジスト教会(Hollywood United Methodist Church)で開催されたイベント中に、聖書で禁止されている死霊術で死亡したアフリカ系アメリカ人の指導者達の霊を召喚しました。Christian News Network(2018/1/16)より。Black Lives Matterとは、黒人に対する暴

力と人種差別に反対するアフリカ系アメリカ人の国際的な活動家運動です。教会において殺害されたアフリカ系アメリカ人達と人権運動で戦った指導者達マーティン・ルーサー・キングやマルコム兄弟などの霊を呼び寄せようとした。と記事は述べています。とした。と記事は述べています。死人の霊を呼び寄せるオカルト的な行為が教会内でなされていたのです。

また2011年にワシントンDCの牧師マーク・バターソン (Mark Batterson) による「サークル・メーカー」The Circle Maker は新しい祈りの方法として出版され非常に人気のある本になっています。

これは伝説のユダヤ人が行った雨乞いの祈りの手法を取り入れたものです。自分の周りに円を描き、その中で祈るという方法です。このような祈り方は聖書のどこにもありません。しかしいくつかの教会において、祈りの輪を描き、その中で祈る方法が取り入れられています。サークル・メーカーの円を描いて祈る手法はオカルト、呪術の手法であると Lighthouse Trails Editors から出版された本「Circle Making and Versus The Straight Line of Truth」で述べられています。

また、この本では、サークル・メーカーの祈りと同様に、かつてブームを引き起こした Bruce. H. Wilkinson 著「ヤベツの祈り」も呪詛的な祈りであると警告しています。

いくつかの例を挙げてみても、悪霊的な祈りやオカルト的な手法がキリスト教会に入り込んでいることがわかります。牧師、

指導者達が悪霊を取り込んでしまっているのが今のキリスト教会の現状なのです。

第一テモテ 4 : 1 しかし、御霊が明らかに言われるように、後の時代になると、ある人たちは惑わす霊と悪霊の教えとに心を奪われ、信仰から離れるようになります。

第一ヨハネ 4 : 1 愛する者たち。霊だからといって、みな信じてはいけません。それらの霊が神からのものかどうかを、ためしなさい。なぜなら、にせ預言者がたくさん世に出て来たからです。

この様に聖書は後の時代に、人々の信仰が損なわれ、悪霊的なことに惑わされることを警告していました。現在まさにそのことが起こっていることを悟らなくてはなりません。



Destiny Cards

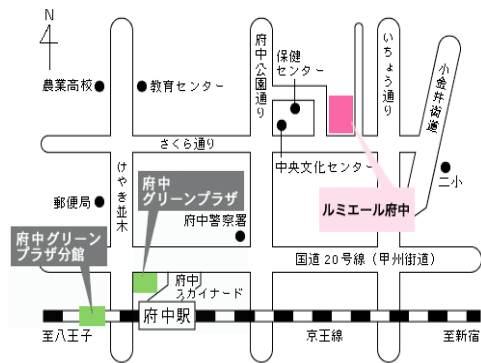
●エレミヤの新刊「天皇家は万世一系のダビデ王朝の末裔である！」



定価:¥1,500+消費税 ※注文を御希望の方は、以下へご連絡下さい。
 警告の角笛出版 tel:042-364-2327 fax:020-4623-5255
 mail:truth216@nifty.com

●レムナントキリスト教会「日曜礼拝」のご案内

曜日/時間:毎週日曜日 午前 10:30-12:30
 午後 14:00-16:00
 場所:東京都京王線府中駅前、府中グリーンプラザ本館
 (tel:042-360-3311)
 1Fのエレベーター脇の部屋表示板で、
 「レムナントキリスト教会」の部屋をご確認ください。
 どなたでも来会歓迎、入場無料です。



礼拝場所のURL: http://www.fuchu-cpf.or.jp/green/access/map_02.html

★教会のHPもあります。
 ご興味のある方は、“Yahoo! Japan”で、「府中 レムナントキリスト教会」で検索ください。
 尚、レムナントキリスト教会はプロテスタントの教会です。ものみの塔や統一教会とは関係ありません。

- ☆クリスチャンの方におすすめのサイト:エレミヤの部屋
<http://www.geocities.co.jp/Technopolis/6810/>
- ☆クリスチャン向けへのブログサイト:終末の風
<http://whattopics.at.webry.info/>
- ☆クリスチャンになったばかりの方やノンクリスチャンの方におすすめのサイト:オリーブ&ミルトス
<http://remnantnotudoi.jimdo.com/>
- ☆ノンクリスチャン向けへのブログサイト:パンの家
<http://87494333.at.webry.info/>